

ホームページのご案内

当院ではホームページを開設し、さまざまな情報を提供しております。
みやのわバックナンバーも公開しております。

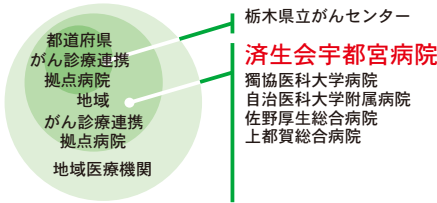


www.saimiya.com



地域がん診療連携拠点病院

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関や他のがん診療連携拠点病院との連携を密にして、より良いがん診療を提供していきたいと考えています。当院では1階「がん相談支援センター／医療相談・看護相談室」で緩和ケア認定看護師を中心とする看護スタッフが、がんに関するさまざまな質問や相談におこたえています。



地域医療支援病院

地域医療支援病院は、他の病院または診療所から紹介された患者さまに対して医療を提供していること、医療機器などを地域の医療機関と共同利用できること、救急医療を担っていること、地域の医療従事者のために研修を行っていること、などの役割があり、都道府県知事の承認を受けます。

当院は「地域と共に進化し続ける病院」のビジョンの下、急性期医療・救急医療を担い、ますます信頼される病院を目指していきます。

リレーエッセイ

基準範囲



医療技術部長
亀和田 均

還暦も近くなると自分の健康も気になり、病院や健診で血液検査を実施し結果が届くと、基準範囲内に入っている事を願う事が多くなってきました。そんな方も多いのではないのでしょうか。

ところで、基準範囲とは測定する試薬、機器などにより多少異なってきますので測定施設毎に違ってくると思います。また、統計学的に健常人の95%が含まれる範囲で設定されています。診療では基準範囲「臨床判断値」も多く使われています。臨床判断値は、特定の疾患群と非疾患群の判別する為の「病態識別値」、治療を開始する判断のための「治療閾値」、健康診断など特定の病態に発症率が增加する事が明らかになった閾値である「予防

医学的閾値」、専門学会からの診断基準、ガイドライン等「診断基準」などがあります。目的や検査毎に使われ方が異なっています。自分の体調に応じて個々の基準範囲を知っておくことが大切だと思います。病院の連携が進む中で各施設の基準範囲が異なっている現状では検査結果を共有する事ができません。栃木県また全国レベルで標準化事業が展開され統一する方向で進められており、県内の検査結果も標準化されつつあります。

最後に、当院が地域の中心となり標準化された検査結果が提供できるような努力していきたいと思っています。



編集後記

みやのわ 編集スタッフの



いよいよ本格的な夏を迎えましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。月日の流れは早いもので、入職したあの日から3ヶ月が経ちました。そうです、実は私、今年度の新入職員でございます。新しい環境に戸惑いつつも、先輩方や同期のおかげで、楽しく働くことができていると思います。

ところで、今年から国民の休日「山の日」ができるのはご存知ですか？山に親しみ感謝するための祝日だそうです。日本の山と言えば富士山ですが、栃木の山と言えば男体山でしょうか。なんと県内100以上の校歌の中で、歌われているようです。昨年の夏、私も初めて男体山にチャレンジしたのですが、山頂の景色が忘れられません！この祝日をきっかけに、登ったことのある方もない方も、足を運んでみてはいかがでしょうか。

最後になりましたが、これからも、初心を忘れず業務に励んでまいります。今後とも、済生会宇都宮病院並びにみやのわを、よろしくお願い申し上げます。

ちょこっとメモ

7月14日

内視鏡の日

7と14で「内視(ないし)」と読む語呂合わせから内視鏡医学のさらなる発展と普及を願って、公益財団法人「内視鏡医学研究振興財団」が「内視鏡の日」と制定しました。

「内視鏡」=医療用というのが一般的な捉え方ですが実は医療分野にとどまらず、他の分野でも用いられ学術・産業の分野、そして災害時には被災者発見などにも用いられるというので驚きです。

さて、当院では人間ドックのオプション検査で胃内視鏡検査を行うことができます。要予約ですがたいへん有意義な検査となっておりますので、ご予約をしてみたい方はぜひ。